



子ども達の成長に花を添えて

3月22日、二瀬本保育園で卒園式が行われ、10名の卒園児の胸元には、色鮮やかな手作りコサージュが飾られていました。このコサージュは、平成17年に同園を退職された後藤美千代さん（東竹原）が毎年ボランティアでコサージュの作成・寄贈をされているもので、卒園式の準備で忙しい先生たちの負担軽減と、成長して卒園していく子ども達に花を添えたいという思いから、始められたそうです。コサージュは同園のほか、菅尾保育園、馬見原保育園、蘇陽小に約50個程寄贈されています。



魅力あふれる山都町の景観づくりに向けて

山都町は、阿蘇南外輪山や九州中央山地等の自然豊かな山々、緑川や五ヶ瀬川等の美しい清流、風情ある田園風景、清和文楽や通潤橋をはじめとする歴史的な文化財に囲まれており、その魅力あふれる景観は私たちの誇るべき宝です。

この恵まれた自然と貴重な財産を守り、次世代に引き継いでいくために、町では、「山都町景観計画」を平成20年3月に策定し、平成31年3月に内容を見直しました。

本計画の目標でもある「山都町の美しい景観づくり」のためには、役場はもちろん町民一人ひとりがルールを守り、主体的に景観づくりに取り組むことが重要です。

ぜひ、皆さんも自治振興区や事業所等による清掃活動・花いっぱい運動など、身近なところから活動に参加し、魅力あふれる山都町の景観を守っていきましょう。



地域事業所による活動
(そよ風の里ほたと民生委員による国道265号線のゴミ拾い活動)



町主催の清掃活動
(五ヶ瀬川・緑川の一日斉清掃活動)



自治振興区や区での活動
(馬見原自治振興区の清掃活動)

農業研修生報告会



3月1日役場にて、1年間の農業研修を終えた研修生の報告会が開催されました。

報告会には、受入農家など30名が参加し、富山県出身の上田さんと、神奈川県出身の城崎さんの2人が、『山都町に移住してきたきっかけや、1年間の研修成果、4月からの就農に向けた目標など』の発表を行いました。

宝くじ助成事業

(一財)自治総合センターは、宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備等に対して助成を行い、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与するための事業を行っています。

今回、下名連石自治振興会にパソコン、カラーレーザー複合機、プロジェクター、上腕式血圧計、石油ストーブの整備が行われました。下名連石自治振興会の更なる活性化が期待されます。

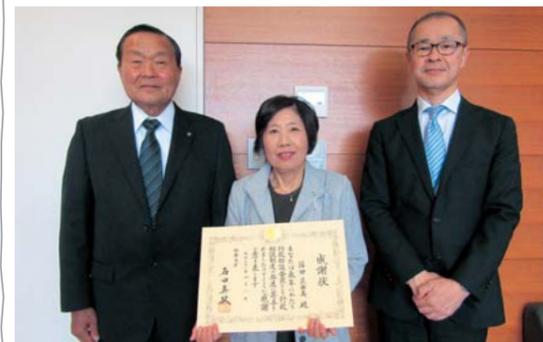


総務大臣感謝状が授与されました

平成31年3月31日をもって行政相談委員を退任された篠田眞由美さんに、熊本行政評価事務所長より総務大臣感謝状の伝達が行われました。

篠田さんは、平成27年に行政相談委員に就任して以来、住民と行政のパイプ役として、2期4年に渡り行政相談委員を務められました。

感謝状を受け取られた篠田さんは「4年間の行政相談委員の経験を活かし、今後も山都町のために貢献していきたい」と述べられました。



左から梅田町長、篠田さん、木村熊本行政評価事務所長

熊本県社会福祉功労者及び団体等知事表彰を受賞されました

2月13日に熊本県庁にて「平成30年度熊本県社会福祉功労者及び団体等知事表彰式」が開催され、林みち子さん(柳)が受賞されました。

林さんは平成15年4月から旧蘇陽町の身体障害者協会の副会長をされており、平成19年4月からは山都町身体障害者福祉協会副会長として、協会の運営にとっても熱心に取り組んでいらっしゃいます。また、平成25年4月からは町の身体障害者相談員に任命され、障がいをもつ方の良き理解者として相談を受け、皆さんの支えとなっておられます。

林さんは、「少しでも障がいをお持ちのみなさんのお役に立てるように頑張ります」と今後の思いを語ってくださいました。

